

2018 テラコヤセミナー

ボランティア 2年目は あるのか？

第4回：災害時の障害者支援の現場から

講師：八幡 隆司 氏 (被災障害者支援NPO法人ゆめ風基金 事務局長)

■講師プロフィール

1957年生まれ。知的障害者授産施設指導員を経て、「豊能障害者労働センター」設立にも関わる。1995年1月 兵庫県南部地震障害者救援本部を設立し、全国のネットワークの協力を得て阪神間の障害者支援にあたる。以降様々な災害支援に当たる。それらの経験から障害者市民防災提言集、防災ハンドブックなどを手がける。2011年東日本大震災、2016年熊本地震でも現地入りし、支援にあたる。今回の西日本豪雨でもいち早く現地入りし支援をしている。現在ゆめ風基金理事・事務局長。



阪神・淡路大震災は、「ボランティア元年」と言われ、多くの災害ボランティアが活躍しました。そして、近年では災害後にボランティアが駆けつけ活動を行うということは、当たり前のことになっています。一方で、災害ボランティアセンターだけでは被災者の多様なニーズに対応しきれていないのではないか？という意見もあり、複数の団体などと連携した協働型での運営が望ましく、支援活動は、多様な展開をするべきだという流れにもなりつつあります。

そこで、今回の寺子屋シリーズでは、もう一度災害時のボランティア活動のあり方について考えていくシリーズです。ボランティア元年に続く、「ボランティア2年目」の姿とは何なのか？参加者の方々と共に考える寺子屋セミナーとしたいと思います。

2018.10.22(Mon)
18:30-21:00

参加費 ¥2,500 (学生 ¥1,500) 食事代込 要申込

申込フォーム



申し込み・開催場所

被災地 NGO 協働センター

〒652-0801 兵庫県神戸市兵庫区中道通 2-1-10

TEL : 078-574-0701 FAX : 078-574-0702 E-mail : info@ngo-kyodo.org